

8. 勤労福祉センター〔エスペランス丸山〕（阿久比・棕岡）

（1）概要

7月17日（金）

町側出席者 13名

地区側出席者 17名

（2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

（3）要望・提言など

- ①：町内の公共施設を巡回する乗り合いタクシー、またはバスの運行の実施をお願いしたい。【阿久比】

答：循環バスの運行については、平成13年度・平成14年度の2カ年にわたり、循環バス運行検討委員会を設けて検討し、循環バスを実施するにはやはり多額な費用がかかることから、高齢者タクシー料金助成事業に力を入れてきた。しかし、今後ますます高齢化人口の進む中、タクシー券助成については、やはり何らかの基準を設ける必要が出てくるため、費用対効果など今後バランスを見ながら循環バス運行も検討していきたいと考える。

- ②：今後、団塊世代のリタイアが急速に進む中で、家庭菜園のあっせんをして、田畑を持たない人に対しても農作物を栽培できる喜び、難しさを体験することによる生きがいづくりを進める。町内にある耕作されずに放置された農地の活用ができる。【阿久比】

答：農地の活用に対しては、家庭菜園としての活用や今後就農を計画する方、農地を貸し借りする制度上の問題、それから地権者の問題もあるので、農業委員会でいろいろな提案を検討して耕作放棄地の活用を図っていききたいと考えている。また、JAあいちにより、ふれあい農園として家庭菜園づくりの仕組みが白沢地区と板山地区の2カ所にある。耕作放棄地については、農業委員会において調査し、耕作の指導を行いつつありますが、なかなかその解消というのは難しい問題があります。

- ③：阿久比町は名鉄電車がまちの南北に通っているため、東西に分断されている。このため、現在高架橋で大型車両が通行できるのは2カ所（阿久比高架橋・英比地区、オアシス大橋・阿久比地区）で、南部地区のアピタ阿久比店の北側、前田川に沿って徳吉橋から県道名古屋半田線の万栄橋に至る高架橋の建設か、鉄道の高架を要望します。【阿久比】

答：徳吉橋から万栄橋に至る道路の建設ですが、この路線については現在の都市計画道路矢高横川線に認定替えをしているので、この矢高横川線の早期完成を推進していきたいと考えている。アピタの環状線については、早期の事業化について関係機関に対し要望しているところである。

関連質問：万栄橋は広くなる予定はあるのか。また、島田橋もすごく狭い。その辺の計画

はどうなっているのか。

答：万栄橋については、現在拡幅の計画はない。島田橋については、半田市一の草から来る環状線を延伸する予定で県に要望している。

関連質問：万栄橋について整備を考えてください。

答：今のところ環状線の早期完成ということで、東西のルートはオアシス大橋と西尾知多3本立てという形になっている。

関連質問：アピタの出入りの車というのは非常に多く。あそこの橋は、ほんとうに一刻も早く広げていただかないと、必ずあそこは事故が起きる道だと思う。

答：県の考え方も阿久比町も環状線を早くつくること。それによって緩和されるのではないかな。万栄橋の交通量が多い事は十分認識している。

④：棕岡踏切周辺で、何回も浸水災害が発生している。排水溝が小さいため、上から一気に流れてきた水があふれ、浸水の原因になっている。排水設備の見直しで、安心、安全に住めるまちづくりを考えてほしい【棕岡】

答：鉄道を横断している現在の管については、600ミリというような管で管渠がされている。管路の勾配の問題もあり、十分検討していきたいと考えている。

関連質問：町から名鉄とかその関係者に連絡をとってもらい、流れをよくしてもらいたい。

答：現地の確認をさせていただいて対処する。

関連質問：管径を大きくして欲しいということを以前から要望しているが、名鉄側の下なので難しいという話であるが、歩行者も車も通れなくなるので対処してほしい。

答：調査して検討していく。

関連質問：管理委託先から、どういった報告が上がって来るのかお聞かせいただきたい。

答：農業用水維持管理協議会を設立して地元の協力を得て管理をしている。協議会で対応できないものは、町でも実施、確認している。役員の方から写真とかを提出してもらい確認している。

⑤：名鉄東の農道アピタ道路で、アピタオープンと同時に車が2台すれ違えるよう道を広げてもらっているが、交通量が多く、歩行者及び自転車通行者がいると狭く、ハッとする。アピタ通りと県道の三叉路で右に曲がるとき、左右の交通量が多く、間に合うと思いきや事故が発生しているので、信号機の設置と道幅を広げてほしい。【棕岡】

答：県道へ出るところの三叉路に信号機の設置については、公安委員会に要望していきたいと考えている。

⑥：横松・萩方面からアピタへ車で行くときは、一方通行の狭い橋を渡り、曲がりくねった狭い道を走りアピタに行き、帰りは北側に一方通行の狭い道を通るが、自転車通行者が入ってくるので接触する危険性がある。一の草通りから阿久比川まで完成しているので、橋をかけ道路をつくれば常滑方面へも便利になるので、ぜひ開通してほしい。【棕岡】

答：早期の事業化ということを県に要望している。

⑦：名鉄棕岡変電所北側とガード手前の道路が破損しかけているし、少し強い雨が降ると、マンホールから水があふれ道路が水浸しになり、車の通行量も多く、歩行者に水がかかるので改善してほしい。【棕岡】

答：マンホール周囲や北側の土手から水が出てくるような状況であるので、何らかの方法で改善するような検討をしている。

関連質問：改善の大体めどとしてどれぐらいの期間を考えられておるのかを、ぜひお聞かせいただきたい。

答：今回の水のわき出るのは、舗装面の下の暗渠、それから北側の側溝をつくることで改善をしたい。今年度中、もしできなければ来年と考えている。

⑧：防犯灯の整備を要請したが設置されない。

答：防犯灯は5月末までに各地区から要望を出して頂いている。全部現地確認して、設置基準を満し、決められた予算の中で優先順位を決めて整備している。

⑨：第4次総合計画の達成状況について

答：人口目標については区画整理の進捗の遅れから達成できていない。また、財政状況により文化ホール、庁舎、それから総合体育館などが整備できなかった。一方で、道路関係については、東部線が西尾知多線に接続するなど、道路面に関しては進捗度が高いと評価できる。さらに、教育関係では小中一貫教育やスポーツ村の充実など進めることができた。こうした達成できたもの、できなかったもの、継続するものは継続し、無駄と思うものは廃止していく、新たな行政課題があれば検討して盛くんでいくというような関係で、第5次総合計画を策定していく。

⑩：阿久比駅から役場を含めて、阿久比の顔の整備をどう考えているか。

答：土地利用の中で、阿久比の顔となる阿久比駅と役場については重要課題の一つとして位置づけている。駅の東からオアシスセンターの一角、こちらの役場、中学校に至るまでを何とか市街化の中へ入れることができないか模索しており、阿久比駅から県道のあたりを全部市街化にすることも、今度の総合計画の中で検討していく。

⑪：アピタの西側の交差点処理のあの赤い色というのは地域の住民が申し出たのか。

答：交通安全対策の一環として県が施行したもので、死亡事故があったところに関して、色を塗って注意を喚起させている。道路交通法であれが何色ということは決まっていない。また、町から要望は出していない。